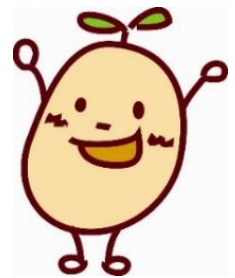


大豆に実がついた!

大豆の観察日記 2021.9.3



「うわあ!大豆がびっくりするくらい大きくなっている!」「畑の土が見えなくなっている!」「うねの間を通ることができないくらいだよ!」「花が咲いている!」「実がなっているよ!」「すごい!夏休みの間にすごく成長しているよ!」

夏休み明けに、久しぶりに大豆畑をおとずれた子どもたちは、大興奮です!成長の様子をタブレットで撮影しました。

夏休みに入ってすぐの猛暑で、大豆畑は水やりが必要になりました。3年生担任で水やりをしましたが、広い畑なので2時間かかりました。1日おきがんばっていましたが体力の限界。みのり会さんに相談しました。すると、水入れだけでなく、たくさんのお世話もしてくださり、夏休みの間に、大豆は、びっくりするほどの成長をしたのです。感謝の思いでいっぱいです。子どもたちと一緒に「ありがとうございました!」と叫びました!



お世話① 水入れ…岩見用水から水を分けていただき、堰(せき)をあけ、水入れをしていただきました。

「夕方5時半頃に堰をあけ、3時間ぐらいで畑に水がいきわたると、夜8時半ごろに堰を閉める」という作業を、夏休み中に4回もしてくださいました。おかげで、猛暑の中、大豆は枯れることなく、すくすくと育ちました。花が咲く時期は、特に水を必要とし、この時期に水が十分だと大きな実をつけるそうです。



お世話② 草引き&剪定…8月29日の夕方5時から23人もの方が集まってくださいました。「葉が茂って太陽が当たらないから、畝の間には、草があまり生えてないな。けど周りには結構生えているね。」「葉が茂りすぎると、大豆の実に栄養がいきにくくなるから、上の方の葉、減らしとくね。」と熱心に作業をしてくださいました。

お世話③ カメムシ対策のお薬散布

8月30日の夕方5時半から、カメムシがいなくなるお薬をまいてくださいました。必要最低限の薄い濃度になるように、素早く的確に作業してくださいました。ご夫婦の連携作業に感動しました。